

# 令和2年度 第2回 佐倉市立美術館運営協議会

## 議事録

日 時：令和3年3月6日（土） 14：00～16：00

場 所：佐倉市立美術館 4階ホール

出席者：以下のとおり

（委員 7名）

大久保委員、齊藤委員、豊田委員、長澤委員、樋田委員（会長）、  
真木委員、安本委員

（美術館職員 5名）

猪俣館長、本橋副主幹（学芸員）、永山主査（学芸員）、  
木邨主査（学芸員）、黒川学芸員、

### 会議次第

1. 開 会
2. あいさつ
3. 報告事項
  - （1）令和2年度事業報告について（公開）
  - （2）平成3年度事業計画について（公開）
4. 協議事項
  - （1）作品の受け入れについて（非公開）
5. その他
6. 閉 会

## 【2. あいさつ】

<館長よりあいさつ>

## 【3. 報告事項】

(1) 令和2年度事業報告について(資料4～6頁)

<事務局より説明>

(会長)

令和2年度事業について、報告していただきましたが、何かご意見はございますか？

(委員)

「ちばのいろ」は当初予定であれば、令和2年度の収蔵作品展1だった展覧会を3月20日から5月16日までに振り替えたという形になるのですね。

(美術館)

収蔵作品展1で行う予定だったものを収蔵作品展3に振り替えております。

(委員)

同展は観覧料金無料であるため、資料に歳入が無いのは分かるのですが、歳出が記入されていないのは何故ですか？

(美術館)

緊急事態宣言下での開催であったので、中止になることを踏まえて、予算は前年度に印刷費を少し使用したのみでした。収蔵作品展3の予算と合わせて、ご報告させていただければと考えております。

(委員)

出来れば、資料の中で収蔵作品展3に振り替えられたという記述があれば良かったと思います。

(美術館)

はい、ご指摘ありがとうございます。

(会長)

現在、既に3月に入っていますが、緊急事態宣言下での運営では入場者数の減少により、難しい点も多いと思われます。本年度の収支について補正予算を組むなどについて考えておられますか？

(美術館)

増額の補正はしておりません。これまでは逆に執行残等の予算について減額の補正を行っております。今のところ、収支を見ておりますと、展覧会の収入については、前年度のほぼ半分です。市の予算では観覧料による収入が特定財

源になりまして、一般財源が膨らむ形となるため、決算上は持ち出しが増えることとなります。貸しギャラリー等の使用料についてはほぼ予定通りです。

(会長)

東京都も大変な赤字になっているようです。「ブロックバスター」といって、二十万人、三十万人入れて利益が出るという方法をとっていましたから、それらが皆開催出来なくなって大変な状況のようです。

特に無いようでしたら、先へ進みます。

(2) 令和3年度事業計画について(資料7～8頁)

<事務局より説明>

(会長)

令和3年度事業の予定について、何かご意見はございますか？

(委員)

「フランソワ・ポンポン展」について、京セラ美術館等を巡回して佐倉の開催となるようですが、展示室の大きさの違いについて、作品数等についてどのように対応されるのですか？

(美術館)

各館の展示室に合わせて調整する予定です。

(会長)

これは館林美術館のコレクションを基本とするのですか？

(美術館)

諸事情により、館林美術館のポンポンに関するコレクションをまとめて鑑賞する機会には恵まれなかったのですが、オルセー美術館から認められたという事もあり、本展の開催につながったように思います。展覧会は海外のコレクションと館林美術館のコレクションを中心に構成される予定です。

ポンポンの国内初の回顧展であり、館林美術館のコレクションのお披露目でもあります。

(会長)

こんな時期にオルセー美術館から作品を借りることが出来るのですか？クーリエが来日できるかどうか、という事もありますよね？

(美術館)

現在、交渉中です。

(会長)

ちなみに観覧料金はどの位を考えていますか？

(美術館)

館によって異なると思われます。当館では東京からの交通費もふまえ、一般800円を想定しています。

(会長)

三菱一号館美術館の「コンスタブル展」は1,900円だそうです。新型コロナウイルスの影響によって観覧料金の差がとても大きくなった感じがします。

「上瀧展」について観覧料金はどの位を考えていますか？

(美術館)

本年度、開催された「久保浩展」をふまえ、高校生以上500円を想定しています。

(会長)

その位だと入りやすいかもしれませんね。

(委員)

「ちばのいろ」のチラシ裏に森山香浦という佐倉出身の帝展画家の《双鶴図衝立》が掲載されています。全く知らなかったのですが、この作家の作品がこの美術館に収蔵されていたり、今まで展示されたりしたことはありますか？

(美術館)

この作品は実は旧堀田邸の玄関に置かれていたのですが、修復を必要とする状態となり、元に戻すとまた傷んでしまうため、美術館に所管替えとなりました。佐倉市に移管される前からずっとそこに置かれていたようです。

(委員)

当館の収蔵作品にはなっただけからは、「さくらのいろ」が初お披露目となるのですか？

(美術館)

はい、そうなります。

(委員)

本年度、展示室が入場者で満員となるような事例はあったのでしょうか？

(美術館)

入館者数が四割減、五割減となっております。よって今のところ、入場制限や事前予約制を行わずに済んでいます。ただ、市民の方から、「貸しギャラリーの利用者同士が密集しています」とのご指摘を受けたことは一度か二度位あります。

(委員)

香取市の伊能忠敬記念館を訪れた際、100名までしか入れない入場制限を行っており、45分まで出て下さいという指示を受けました。次の来館者を入れ

る前の15分で職員が清掃を行うとの事でした。歴史民俗博物館でも除菌対策にはかなり気を付けているとお聞きしています。警備員や受付は全て手袋をはめていて、それらは1回使い捨てという徹底した体制との事です。美術館や博物館だとかなり人が集まってしまうため、その位の対策は必要だと思われま

(美術館)

当館においても滞在時間は全館で2時間とさせていただいております。根拠は各フロアに三つの展示室があり、一つの鑑賞を20分と想定した場合、1フロア60分となります。それが2階と3階で二倍となり、120分となります。展示室一室も30名位を想定しており、それを越えそうな場合は少し抑えるように監視員をお願いしています。

先日、佐倉東高校の定時制の方々を受け入れた際は事前に打合せを行い、班編成を組んでいただきました。そのことにより、密にならないように気を付けております。既にご存知かと思われませんが、床にも2m間隔で白い目印を貼り、お客様同士の目安としていただいております。

検温も設置しておりますし、エレベーターは4名乗車で常に空調を作動しています。館の空調も外気導入で運転しており、二酸化炭素濃度によって変わりますが、入場者が多い場合は手動で切り替えるようにしています。

(会長)

歴史民俗博物館は如何でしょうか？

(委員)

歴史民俗博物館は入場者数に一番貢献してくれている団体を一時期、午前30名、午後30名という風にもものすごく制限しました。最近、入場者数はほぼ戻っているようです。ネットで事前予約制を導入したところ、あっという間に一杯になりました。ただ、そういう人気のある企画ばかりではないため、新年度以降は下がるかもしれません。

(会長)

実は東京都も案外戻っているようです。皆さん、遠くには行けないのですが、近くに出かける際の選択肢として美術館を選ぶ方は少なくないようです。

委員の皆さんから展覧会の意義等について色々なご意見をいただきました。それらをふまえ、より良い運営を目指してください。

(美術館)

はい。ありがとうございました。